



さんじょう

こんな学校を目指しています

校長 在家正行

1 三条魂で成功させるぞ！ オー！！

今年の運動会開始直前。しいんとしたグラウンドの中央には、お揃いの青いポロシャツ(職員が協働して作りました。費用は勿論自腹です)を着た職員が円陣を組んでいました。子供たちも観客の皆さんも静かに見守っています。

静けさを破る校長の「三条魂で成功させるぞ！」の掛け声に、職員が「オー」と拳を曇天に突き上げて、今年の運動会は始まりました。ポロシャツの背中にプリントされた「Sanjo Soul」は、日本語で「三条魂」のことです。実は、この場面は、私たちが今取り組んでいる学校づくりの考えを表しています。今回は、この学校づくりについてお知らせしたいと思います。



2 三条魂でまちをつくる力を育む

「三条魂」とは、三条地域をつくってきた人たちや自分たちがもっている「よさ」のことです。このまちをつくってきた先輩たちや自分たちがもっているよさ(歴史や特徴)を誇りにしてよりよい未来をつくっていかう、と取り組んでいます。

一人一人がもっている「三条魂」は、共通しているところもあれば、違うところもある、と考えています。

3 目指す子供像は「まちをつくる力」をもった子供

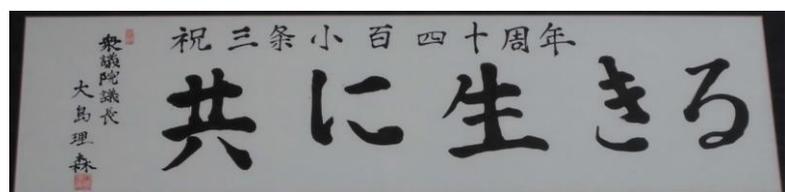
ここでいう「まち」とは、社会のことです。

学校は“小さな社会”と言われます。

学校には、男の子もいますし女の子もいます。1年生もいれば6年生もいます。できるようになるのが早い子もいればゆっくりとできるようになる子もいます。通常学級の子もいれば特別支援学級の子もいます。読み書きが得意な子、計算が得意な子、お絵かきや工作が得意な子、生き物を育てるのが得意な子、困っている人がいると助けてくれる子、勇気のある子、進んで挨拶をする子、笑顔が素敵な子、……、と様々な子供がいます。しかし、みんな平等です。そして、みんなよさをもっています。

目指す子供像は、「自分ももっているよさ(三条魂)を発揮して、友達と協力して学校や学級という小さなまちづくりをする力をもった子供」です。

21世紀を生きる子供たちに必要な力は、「共に生きる」力です。私たちはこの力を学校や学級という小さな社会(まち)をつくる活動を通して身に付けさせようとして取り組んでいます。



揮毫：本校卒業生・現衆議院議長 大島理森氏

4 学校目標は 聴き合い高め合う子の育成

今年、重点的に取り組んでいくのは、「聴き合い高め合う子の育成」です。

全ての学びは、子供たちが知りたい、解決したいと「問い」をもって対象に向かい耳を傾けるところから始まります。問題の解決のために友達と聴き合い高め合う（共に成長する）子供たちの育成に取り組んでいきます。

学校の経営の全体構造図を載せます。青の太枠の囲みが、家庭、地域と連携して取り組んでいきたいところです。御協力のほどよろしく申し上げます。

学校経営 全体構造図

三条魂でまちをつくる力を育む

《教育目標》

自分をのぼす

自分が行動することで「今よりよくすることができる」と信じ、「問う、考える、語る、聴く」力（対話力）

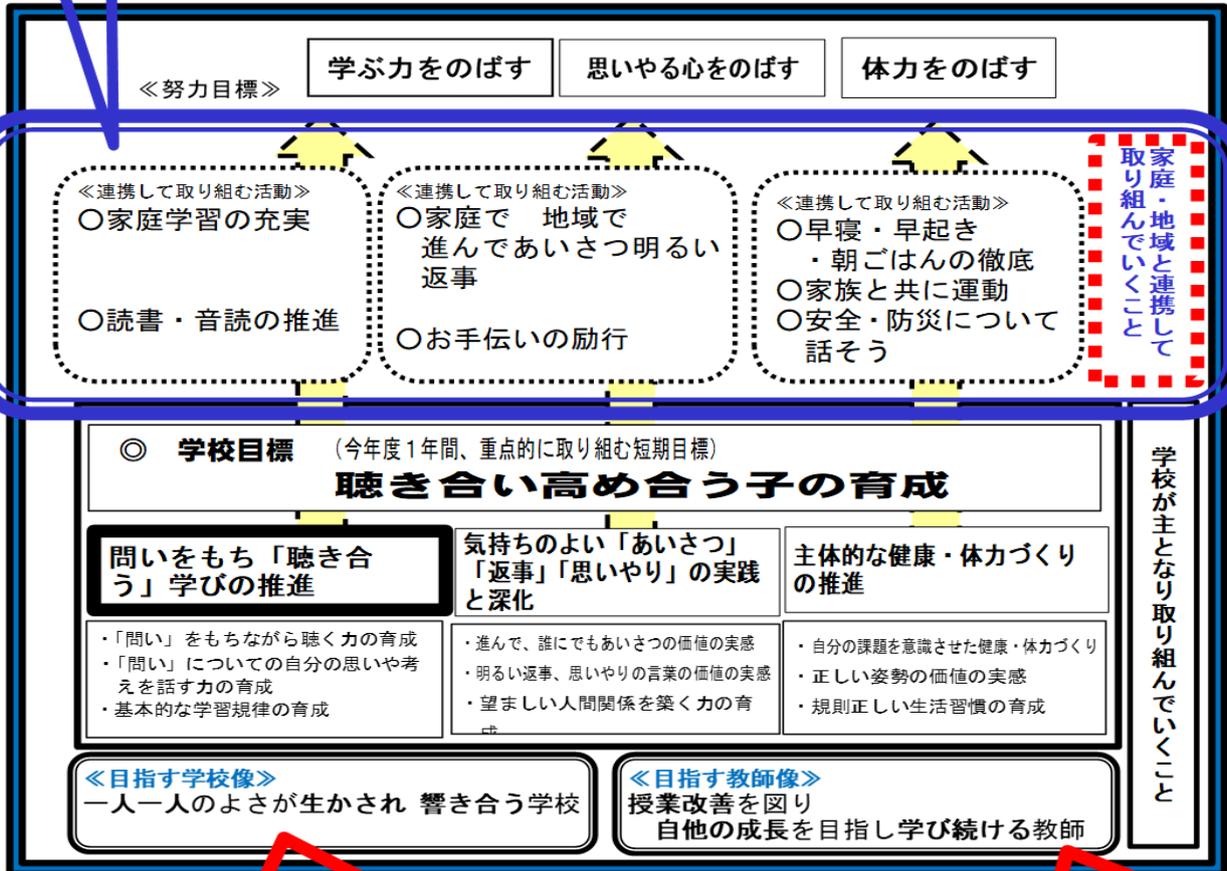
家庭、地域と連携して取り組んでいきたいことです。御協力をお願いします。

《目指す子供像》

まちをつくる

まちをつくる（共に成長する）力をもった子供

明るく活力ある生活づくりを目指し、他者と協働する子供



○一人一人が 自分が行動することで「今よりよくすることができる」と信じ、「わたしはここができていない・わからない」と言える学校

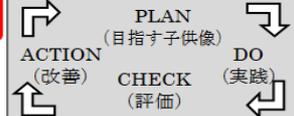
○子供たち自身が 明るく楽しい生活をつくらうとしている学校 (子供たち自身が いじめをなくそうとしている学校)

教育愛と教育技術（※専門性）をもち、質の高い教育活動が行えるプロフェッショナル教師

「聴く、つなぐ、もどす」教師

子供に「わかった、できた」「できそうだ」を感じさせ、自信をもたせる教師

児童・教師の夢や希望



保護者・地域住民の思いや願い

家庭・地域・中学校との連携・協力（まちをつくる力を育む学校）

◎保護者や地域諸団体との連携・協力、様々な方々の意見の拝聴と活用

(キーワード) ○まちをつくる (共に成長) ○ことばで発見 ことばでひらく ○日々成長・日々変身

○A B C D教育 Aあたり前のことを Bばかにせず Cちゃんとやる Dできる・ドリーム・夢かなう